

公立保育園の保育内容**5 歳児 お泊り保育**

前回の運営協議会で、乳児保育の環境づくりにゆいてお話をさせていただきました。今回は 5 歳児の取り組みの中で、お泊り保育にポイントをおいて、5 歳児としての理想の子ども像、どのような子どもに育てたいか、5 歳児につけていきたい力と子ども像についてなど、お話しさせていただきます。

保育園は、保育指針をもとに、保育理念・保育方針・保育目標があり、各年齢毎の保育目標があります。乳児から幼児へと、子ども達の発達段階をふまえ、様々な配慮も含めて、年間の計画を子ども達ひとりひとりに合っているか検討し、職員全体で話し合いを重ねています。

5 歳児の目標は、前回の運営協議会でお話ししました、乳児保育の「一人一人を大切にする保育」の積み重ねの上に成り立ちます。乳児期に大人との信頼関係をつくり、基本的な生活習慣が身につきはじめ、言葉を獲得してゆきます。幼児期になると、友達との関わりが芽生え、自分の気持ちを言葉で伝えようとし、自分の好きな遊び・自分の場所を見つけてゆき、基本的な生活習慣が自立してゆきます。友達とのたくさんの関わりの中で、自分の気持ちをきちんと伝えようとする姿がみられる頃に、「保育園で一番大きい 5 歳児」へと進級してゆきます。

1、5 歳児目標

- ・話をよく聞いて行動する。
- ・仲間意識を持ち、協力し合って活動する。

【人間関係】

- ・年長になったことに自信を持ち、喜び合う。
- ・友だちと相談したり、協力し合いながら、共同の仕事をやり遂げる。
- ・自分の行動が周りに影響を与えることがわかる。
- ・命の大切さを知る。

【環境】

- ・数、形（図形）、長さ、大きさ、高さ、重さ、量、方向、序列、順列、分類、対応、比較、組み合わせ、対称、反転を生活の中で知っていく。

【言葉】

- ・課題（テーマ）に沿った話し合いができる。
- ・文字などで伝える楽しさがわかる。

【表現】

《造形》・いろいろな素材を使って描いたり、作ったりして楽しむ。

- ・自分で作ったもので遊んだり、部屋の装飾にする。

《音楽》・みんなと一緒に歌ったり、遊ぶ。

- ・わらべうたや季節の歌を楽しむ。

《文学》・絵本、お話、テーブル劇などを楽しむ。

- ・詩や言葉遊びに親しみ、やりとりを楽しむ。
- ・物語を通して想像力を豊かにする。

4月に「保育園で一番大きいあこがれの5歳児」に進級すると、人数報告やお食事当番、畑作りなどがはじまり、どの子もはりきっています。5歳児のこども達の様子を観察し、5歳担任や5歳児担当で年間保育計画、5歳児の課業や集団遊びなどについて、こども達にあった計画を立てます。そして、お泊り保育についての話し合いもはじまります。

2、お泊り保育の目的

- ・みんなで楽しんでお泊り保育に取り組む
- ・楽しかったことや泊まれた事を共感しあい、仲間意識を深め自信につなげる

お泊り保育は、5歳児クラスの主要な行事のひとつです。近隣の自治体ではお泊り保育の取り組みはありませんが、小金井市の公立園では長年に渡り、お泊り保育の取り組みを行っています。5歳児クラスに進級して間もなくから計画され、様々な取り組みを経験し、7月の当日を迎えます。親から離れて保育園に泊まるという経験は、子ども達同士で共通の体験をしたということが、お互いの関係性を強め、それぞれの自信につながっています。卒園式で「保育園で一番楽しかったこと」を発表すると、「お泊り保育が一番楽しかった」という子が多いです。

お泊り保育について、どのような取り組みにしてゆくか、そしてどのように進めていくかなど、テーマを決めて取り組む場合と、泊まるということに向かって、あえてテーマを決めない場合とがあります。

テーマを設定する場合は、担任や担当が今の子ども達が関心を示し興味をもつような題材を選び設定します。物語や絵本の世界の主人公がテーマだったり・・・遠足でプラネタリウムを見学し、その星座や宇宙からメッセージが届いたり・・・テーマの主人公から、手紙が届くなどをきっかけに、子ども達は手紙のやり取りをしたり、物語の世界にとけ込んでゆきます。今までになされたテーマでは、「エルマーの冒険」「おきょちゃんとかっぱ」「海賊ポケット」「ロボットカミィ」「ぐりとぐら」「めっきらもっきらど〜んどん」魔女や忍者、大好きなダングムシ・・・などがあげられます。

お泊り保育のオリエンテーションの中で、保育園で泊まる時に何がしてみたい？ご飯は何にしようか？など子ども達にたくさんの意見を出してもらい、子ども達で何回も話し合いや相談しながら進めてゆきます。子ども達のイメージが膨らむように、そして、お泊り保育を楽しみに期待が持てるように、保育士は子ども達の反応から考察を重ねてゆきます。



「だれからのてがみ？」

3、お泊り保育 当日までの取り組み

【食育】

- ・野菜の苗を植え、水あげなどの世話をし、成長を楽しむ
- ・育った野菜を収穫し、みんなで料理して味わう

畑を耕し、ジャガイモの種芋を植え、水まきや草取りなどの世話をしながら、「お泊り保育の時に食べられるといいね」と作物の成長過程を話しています。色々な野菜の種や苗があって、どんな野菜を育てようかとみんなで話し合っただけたり、野菜の種類や季節の野菜についても伝え、興味をもてるように取り組んでいます。(キュウリ、ミニトマト、オクラ、枝豆など)

お泊り当日の夕食のメニューは、自分達で何が食べたいか話し合っただけ、自分達で料理します。庭で実った梅を収穫し、梅ジュースを作り、お泊り当日に乾杯する園もあります。

【話し合いを通して】

- ・自分の気持ちや意見をしっかりと伝えるようにする。
- ・友だちの意見も聞くことができる。
- ・自分の意見を友だちに伝え、友だちの意見を聞くことによって、協力したり、相手の気持ちに添うことができる。

「お泊り保育って知ってる?」「お泊り保育で何したい?」「お泊り保育で何作って食べようか?」など、ひとつひとつのことを、グループ毎やみんなで話し合います。話し合いの中で、何度も意見があわず、心の葛藤を経験しながら、納得がいくまで話し合い、最終的には自分達で決めて作り上げてゆく醍醐味を感じて欲しいと思っています。友だちとのやり取りや関わりを通して、友達に認めてもらうことが、自己肯定感につながってゆきます。

お泊りカレンダーを作って掲示し、子ども達が取り組みの見通しを持てるようにしています。

【仲間のしるし】

- ・5歳児みんなでお泊りするので、仲間のしるしを作る
- ・ワクワクドキドキの体験を共有し合い、仲間との一体感を深める

5歳児みんなでお泊りをするので、仲間のしるしの物を手作りします。Tシャツ染め、バンダナ、マント、ブレスレット、旗などです。主人公から魔法の粉が届いて、みんなでお揃いのTシャツやマントを染めたりします。Tシャツを輪ゴムで縛り、染粉で絞り染めをする時、輪ゴムをかけてクロスしてまたかけてという手先の作業は技術的に難しく、5歳児ならではの根気が必要な取り組みです。スタンプやステンシルを使って染めることもあります。三つ編みでのバンダナ作りでは、例えば赤→青→黄→赤の順番で長い布を交互に編んでゆく経験をしませう。忍者や魔法使いがテーマだと、風呂敷やマントを使い、結ぶという手先の作業を経験しませう。旗は、グループ毎に共同作業で相談しながら作っただけませう。

【保護者との連携と健康管理】

- ・保護者にむけて、5歳児の取り組みや活動内容をお便りで発行したり、掲示板で知らせていく
- ・事前にアンケート調査を行い、体調管理や精神的な不安のケアを十分に行う

お泊り保育について、子ども達が不安に感じていることや、楽しみにしていることを伝え、保護者と共に子ども達を支えたいと思っているので、活動内容をリアルタイムでお便りにて伝えていませう。(資料1参照「おひさま通信」)

また、お泊り保育を元気に万全の体調で参加できるように、個々の健康状態や生活について、調査し把握しませう。(資料2参照「お泊りアンケート」看護師より)

お泊り保育の当日の流れについては、おとまりほいくの「しおり」を配布しませう。(資料3「おとまりかいしおり」)しおりは、子ども達が興味をもてるように文字はひらがなで書き、時間の経過は時計の文

字盤で示し、親子で一緒に読んで、楽しみながら準備できるように工夫して作成しています。

4、お泊り保育プログラム



みんなで育てたじゃが芋の収穫



どれぐらいの重さか量ってみよう

お泊り保育当日の朝、保護者からの声援を受けながら、いつものようにいってらっしゃいをします。午前中は、いつものように過ごし、畑で育てたじゃが芋の収穫です。どのぐらいの量、収穫できたか、秤で重さを量っています。このように環境認識の量についてなど、5歳児の活動に組み込まれています。

始まりの会

お昼寝明けに、仲間の印の T シャツをみんなで着て、グループ毎の旗を掲げ、お泊り会の始まりです！

クッキング

エプロンと三角布をつけて、夕食メニューのカレーライスの野菜さざみ



ペンギん団

あげは団

うさぎ団



ピーラーと包丁を使って

お風呂屋さん

水着を着て、ホールの上のプールサイドへ出発。今日は、プールサイドがお風呂屋さんに！
いい香りの露天風呂、泡風呂、大きなたらいの五右衛門風呂。打たせ湯もあって、大はしゃぎ♪



露天風呂いい気持ち～



打たせ湯だ！

カレーパーティー

庭のかまどでカレーを煮込んで、庭にテーブルをセッティングして・・・の予定でしたが、雨が降ってきたので、雨天プログラムに変更。ホールでカレーパーティーです。みんなで作った“くりのみ産野菜入りカレー”を「いただきます！」



探検

食後、部屋に戻ると、大きな地図を発見！夜の保育園に懐中電灯を持って、地図のように進んでみると、4つのミッションが・・・手裏剣を投げたり、呪文を唱えたりして、暗号が解読できた！ドキドキしながらも、あえて挑んでいくという勇敢なみんな。夜の原っぱで、ついにお宝を発見し、大喜びです。



ボンファイヤー・キャンドルファイヤー

炎やキャンドルに照らされて、みんな、うっとりの瞬間です。
みんなで楽しく、歌って踊ってのキャンドルファイヤー。「エビカニクス」や「お誕生月のうた」でノリノリです♪

おやすみなさい

シャワーの後、パジャマに着替えます。ゆったり絵本やお話を聞いて、初めて保育園に泊まります。



すぐに眠ってしまう子、なかなか寝付けない子、しくしくと涙が出てしまう子など、担任をはじめ、子ども達が安心して眠りにつくまで、見守ります。そして、その後、朝まで不寝番の職員が交代で見守ります。(資料4「職員の動き」)夜中トイレに起きたり、寝言を言ったり、寝相がすごかったり・・・

おはようございます

翌朝、6時前から子ども達は目を覚まし始めます。みんなで泊まれたことが嬉しくて、表情が輝いています。朝の清々しい空気の中をお散歩します。帰ってくると、朝食の準備がセッティングされています。

終わりの会

みんなで終わりの会をして、保護者のお迎えを待ちます。子ども達のことを気がかりで、落ち着けない一夜を過ごした保護者の親心がひしひしと伝わってきます。そして、子ども達が「みんなと一緒にだったから、泊まれたよ」と保護者の胸に飛び込んでゆく光景は胸をうたれます。子ども達の自信に満ち溢れた、ちょっと照れくさそうな表情に、またひとつ成長を感じます。

お泊り保育 事例報告 1 《5歳児につけていきたい力》

5歳児の担当はその年の5歳児の子ども達の姿を見て就学前に伸ばしていきたいところ、つけていきたい力を話し合います。優しくて慎重な子ども達が多く、自分で考えてみんなの前で意見を言うことが苦手な子どもが多かった、今年の大い子たち。慎重でよいけれど、自信をもって新しいことに挑戦して欲しい。自分の思い、考えは言葉にして伝えていかなければ伝わらないということを身につけて欲しいと考えました。

お泊り保育の話し合いのエピソードをいくつか紹介します。

1、グループの色決め

今年は、多数決でさっと決まったグループもありましたが、多数決だと少数派の意見が通らないから嫌だ。じゃあジャンケンにする？じゃんけんは勝った子の意見になるから嫌だ。じゃあ“ずいずいずっころぼし”で決める？「いいよ」でもいざ始まったら、ず～いず～いずっころぼし♪とどうも不正?! の感じであったりとこれまたうまくいきません。みんなが必ず納得する方法で決めることを約束しグループごとに決めていきました。さんざん意見を出し合うからでしょうか、最後はじゃんけんを決めることになった時は、みなすっきりとした表情でした。

一昨年は男女の混合グループでした。あるグループは、「あか」「あお」でなかなか決まりませんでした。「あお」は男の色だから嫌という女の子。そのあといろいろ話し、それでも何とか「あか」と、やっと決まったと思ったら、他のグループもあかで…。そしてそのグループとのじゃんけんに負け、また相談しなおしになってしまいました。話し合いを続けてそれまで「あか」とずっといていた子が「みずいろならいいよ」の提案に皆が賛成。ここまでおよそ1時間…。時々大人が交通整理したものほとんど子ども達だけで相談しきりました。

2、みんなで楽しく過ごすにはどうするとよいか

「泣かない」みんなが悲しくなってしまうから。

「けんかしない」みんなが楽しい気持ちがつまらなくなるから

「みんなで力を合わせる」みんなのお泊り保育だから

みんなで考え決めた約束・・・お泊りの中でいろんな場面で「約束したもん」と互いに声を掛け合っている姿がありました。自分たちで決めたことは守りたい、守るべきと行動している子ども達でした。

必ず、一人ひとりが意見を言うこと、友だちが話すときはちゃんと聞くこと、最後まで決めること・・・

お泊り保育の取り組みの中で相談しなくては進まないことがたくさんあり、その中で少しずつ話し合いが上手になっていきました。

お泊りの取り組みの中で度重なる話し合いを経験して自信をつけていった子どもたち。お泊りが終わってから

クラスのグループ替えをしたときは3歳4歳を交えて新しく名前を決めますが、自分の意見も言うけれど、5歳児がリードしてどの子にもきちんと意見を聞き調整役をして決めることができるようになっていました。明らかに相談して決定できる力がついてきたと感じました。

日常生活の中で起こる友だちとのトラブルも大人にすぐ助けを求めるのではなく、自分の気持ちを伝え

ることが増えていきました。

異年齢保育なので年齢の違いはありますが、大きい子が年下相手でも、嫌なことは嫌であると伝えてそのあとどうすればいいかを考えていくのが大事なのだということを知ってきていると感じさせてくれました。

「自分の意見を伝えることは人との関係を作っていくのにとっても大切なこと」この根っこを植えていきたいと思っています。

お泊り保育 事例報告 2 《お泊り保育が不安だった A 君》

5歳児になると、皆お泊り保育を楽しみにする姿が見られます。しかし、保護者と離れて保育園で寝て泊まるという事は楽しみだけでなく、大きな不安と緊張を子どもは抱えます。私達は7月に行うお泊り保育のために、4月からいろいろな事に取り組み始めます。

A君は、不安になると、心の中でパニックになり大人にずっと話しかけ同じ事を何度も質問します。さらに、大人と1対1でしか遊べなくなってしまう、やりたくないことは明日やると言ってしばらくやらないという特徴があります。今まではA君のペースで出来ることからやってみようという思いで保育をしていましたが、保護者からも「5歳なのでどんどんやらせて下さい。」という要望もあり、私達はA君がお泊り保育に楽しんで参加できるよう考えながら計画を立てました。

今回のお泊り保育のテーマは絵本の「わんぱくだん」です。わんぱくだんから手紙がきたり、わんぱくだんの絵本の内容と同じ事を体験してみたり、子ども達は、わんぱくだんが本当にいて自分達の事をどこからか見ていると信じるようになりました。しかし、A君は姿の見えないわんぱくだんから手紙が来るという事が不安でなりません。「手紙が届いたよ。」と大人が言うと他の子ども達は飛びついて来るように喜ぶのですがA君は全く関心を示しませんでした。たくさんの人が一斉に集まって賑やかになる所も苦手とするので、A君には大人が1対1で気持ちが落ち着いている時に大人と一緒に手紙を読みました。

4月の小金井公園の遠足で1枚目の手紙を発見します。お返事をみんなで書き、大人が小金井公園に置いてくるという事でまた返事が来ました。5月に入り、お泊り保育の夕食で食べる野菜を育て始め、育て方のコツという内容の手紙が来ました。次にお泊り保育の時にお揃いで着るTシャツの染め粉と一緒に手紙が来ました。A君は次から次へと活動が進んでいく中で不安がどんどん募ります。お家での様子を尋ねるとお家では一切お泊り保育の話はしないとの事でした。6月後半になると日中の活動でプールが始まります。A君はプールが大好きなので何かわんぱくだんと絡められないかと考え、5歳児の特別行事の一つ、プール掃除で今年初めて2階のプールに上がったときにわんぱくだんからの手紙を用意しておきました。A君は初めて手紙に反応して喜びわんぱくだんを信じるようになり、お泊り保育に向けての活動にも積極的に参加してくるようになりました。そして、お家でもお泊り保育の活動の話をするようになったと保護者から嬉しい報告がありました。A君が不安になって嫌になってしまわないように、保護者と密に連絡を取り合って、今日の様子からお家でのフォローのポイントなどを話して協力してもらいました。

お泊り保育当日、朝からやる気満々のA君。保護者の方が「無理そうならを電話下さい。」と不安な様子でした。始まりの会が始まると緊張した様子は伺えましたが、担任が常にそばで声かけをし、見守る事で楽しんで参加できるよう配慮しました。夜の探検はさすがに不安な様子が強く、表情はこわばりイライラした様子で大人にずっと次は何が起こるのか、何でこうなるのか、早く終わらせて欲しい、と訴えてきましたが、そこを乗り越えることが出来た時、A君はそれまでとは違って変わって生き生きとした表情を浮かべ、探検に参加していない大人にとっても嬉しそうに報告していました。そして、保護者と離れて始めての就寝。A君に添い寝をして安心して眠ることができました。夜中に目が覚めて不安になってしまわぬよう、担任がそばに付いていたので、トイレで起きた時も落ち着いて再度入眠することができました。朝になり目覚めた時のA君はとても自信に満ちた表情を浮かべ、少し興奮気味で「泊まれたよ！泣かないで泊まれたよ！」と話してくれました。泣いていたのはお迎えに来たお母さんのほうで

した。

このお泊り保育が A 君にとって自信となり、またお泊り保育したいとよく言います。その後、A 君の中でいろいろな事をやってみようという気持ちが芽生え、遊びの中もお友だちに対して積極的な様子が見られるようになりました。保護者も A 君がとても成長したように感じていますと話してくれて今後が楽しみです。